

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第73回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	令和8年1月27日(火) 午前10時00分～午後0時30分	場所	木津川市役所5階 全員協議会室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委員 【学識経験者】 ■大庭 哲治委員(副会長) ■井上 学委員 【市民代表】 □園田 仁志委員 ■出石 順大委員 ■筆保 幸子委員 ■岡野 陽平委員 ■天野 豊委員 □福井 康裕委員 ■亀井 順子委員 □中森 啓之委員 【事業者】 ■平野 暁子委員 ※代理：炭本 有貴乃 ■森口 真貴委員 ※代理：濱口 健(近畿日本鉄道株式会社 新田辺駅 副駅長) ■大西 秀樹委員 ※代理：松石 康志(奈良交通株式会社 乗合事業部 次長) ■津田 秀夫委員 ■藤原 幸嗣委員 ■大江 正泰委員 ※代理：牛島 充義 □加藤 隆委員 ■梅田 幹夫委員 ■渡邊 英一委員 ※代理：棚田 允也 【行政機関】 ■中野 幸太委員 ■籠谷 建太朗委員 ■富田 幸彦委員 ■井上 真也委員 ■村上 隆夫委員 代理：交通総務係長 多田 隆潮 □谷口 雄一会長 □稲垣 勝彦委員 ■米田 直樹委員 ■島川 淳一委員		
	その他 【オブザーバー】 ■大塚 保洋(国土交通省近畿運輸局 交通政策部交通企画課 課長)		
事務局	茅早事務局長、西村事務局次長、楠見担当係長、井村主任、豊原主事 高齡介護課 松下次長、門西主事		
傍聴者	2人		
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 報告事項 ①コミュニティバス利用者支援事業の実施結果について【資料1】 ②コミュニティバスフォトコンテストの結果について【資料2】 ③木津川市公共交通マップの更新について【資料3】 (2) 協議事項 ①「ちょこっとながも」の運賃設定について【資料4】 ②令和7年度補正予算第2号(案)【資料5】 ③地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について【資料6】		

	<p>④木津川市地域公共交通計画の変更について【資料7】</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会の宣言があった。 以下の新たな委員について紹介があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木津東部民生児童委員 亀井委員 ・京都府タクシー協会 藤原委員 <p>2. 議事</p> <p>議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として出石委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況について【資料1】 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>②令和6年度決算報告について【資料2】 資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>③木津川市公共交通マップの更新について【資料3】 資料3に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①「ちょこっとながも」の運賃設定について【資料4】 資料4に基づき、事務局から提案があったが、原案は不承認とした。</p> <p>②令和7年度補正予算第2号(案)について【資料5】 資料5に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。</p> <p>③地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について【資料6】 資料6に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。</p> <p>④木津川市地域公共交通計画の変更について【資料7】 資料7に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>②その他 事務局から報告があり、確認した。</p> <p>3. 閉会</p>

1. 開会

会議結果要旨のとおり。

2. 議事

(1) 報告事項

- ①木津川市コミュニティバスの利用状況について
- ②コミュニティバスフォトコンテストの結果について

【配布資料】資料1・資料2

【主な意見・質疑等】

○今回のきのつバスの100円キャンペーンは良かったと思うが、物価高騰対策という観点では、運行事業者への支援という観点も必要ではないか。

→今年度に国交付金を活用し、市内交通事業者を対象とした補助に取り組んでいる。

○精華町くるりんバスは1回100円で乗ることができ、満員ではないが、それなりに乗っている。精華町くるりんバスは専用のバス車両であるため、車内広告が地域の企業の広告になっているが、きのつバスはそうではない。広告についてどう考えているか。

→今回の取組では、運賃を100円にしたことで2～3割の利用者増加であったが、100円での運行を継続することは難しい。車内広告については、きのつバス専用の車両はないため、きのつバスに対する広告募集は難しい。車内広告は、引き続き奈良交通と協議を継続したい。運賃収入以外の確保策として、バス停のネーミングライツで広告企業を募っている。

◎今回のキャンペーンなど今後の展開についてはどう考えているのか。

→今後も国の交付金などの財源があれば、今回の取組みや新たなものを検討したい。

③木津川市公共交通マップの更新について

【配布資料】資料3

【主な意見・質疑等】

◎配布場所について、補足いただきたい。

→広報に折込して全戸配布するほか、駅にも配架する。また、市民課に配架して木津川市へ転入する方に周知する。

○南加茂台に記載のある阪口歯科医院は現在廃業されている。

→現状は更新前の情報である。広告事業主が決まれば更新されていく。

◎新しい施設や情報も入れていく必要がある。ジュノパークの記載はあるか。

→ジュノパークについては、ハイタッチリサーチパークの副名称として「積水ハウス JUNOPARK 前」として記載している。

○施設写真の文字が読みづらい。ユニバーサルデザインの観点から修正可能か。

→対応可能である。

◎丸数字の意味を教えてください。

→青色の番号は、裏面の広告枠の番号と対応する予定である。赤色の番号は表面のコミュニティバス1日フリー乗車券を販売頂いている場所である。

(2) 協議事項

① 「ちょこっとながも」の運賃設定について

【配布資料】資料4-1、4-2、4-3、参考資料

【主な意見・質疑等】

○p. 14において、南加茂台地域の役員へ料金設定案を提示し、了承いただきましたとあるが、自治会として了承したという事実はないので、誤解を招く記載である。

→南加茂台地域の役員に対し、協議会に諮ることや、今後の進め方について説明をしている。承認いただいたという誤解を招く表現であった。

○奈良交通加茂線、コミュニティバス南加茂台線の利用が運行開始前後でどう変化があったのか。

→加茂線については、加茂地域間バス停の利用者は4月から11月の間で令和6・7年度を比べると、1,800～1,900人の利用者増加がみられる。ちょこっとながもが加茂線に影響しているかは分からない。コミュニティバス南加茂台線は利用者が187人から129人へ58人減少し、ちょこっとながもの影響があると分析している。

○令和8年度は過疎債を活用するという理解でよいか。

→過疎債が充たると明言はできないが、担当課としては充てたいと考えている。

また、他の地域に横展開できるものか見極める必要があるので、過疎債ありきで進めるものではないと考えている。

◎料金設定が協議事項であるが、これは今回決めないといけないものか。

→有償運行は4月からと考えている。今日承認をいただければぎりぎり間に合うタイミングなので、本日お願いしたい。

○次回でもいいと思うが、運行経費については、大まかな根拠を見せていただきたい。

→次回協議会にてお示ししたい。

○燃料費について、委託先からの請求金額をどのようにチェックするか。

→ちょこっとながもは新規事業なので、費用の予測ができないため、実費精算でスタートしている。今後定着していけば、契約内容を見直していきたい。

○令和6・7年度の運行期間中に、木津川市主催で、健康教室などちょこっとながもの利用促進を図るようなイベントをされているのか。

→健康教室の開催などはしていない。12月にイベントを実施したが、その他についてはふだんの活動時に利用をしていただくようお願いした。

○引きこもりの方を外に出すことが目的であれば、市からの働きかけが必要かと思う。

→地域住民の方に積極的、協力的な方もおられるので、その方々と連携しながら周知に努めたい。

○料金設定について、住民の方からだと納得できないのは理解できる。一方で事業者側としては、サービス対価として路線バスと同じでよいとは思わない。バス停まで歩いて行かないといけないバスと、家まで来てくれるちょこっとながもは対等ではない。

○横展開の参考として、車両の余った時間を使って引きこもり高齢者の買い物支援を行っている例がある。ボランティアスタッフが一緒にお出かけを促す。高齢者全員を対象にするよりは、ターゲットを絞って行うことも一つの案である。

アンケートからは、半分はお出かけ回数が増えた、逆に半分は増えていないとの回答があった。坂の上に住んでいる人であれば行きは下りなのでバス等を使う、帰りにちょこつとながもを使うという使い方も一つである。

アンケートの取り方で気を付けてほしいのは、免許返納のところ、運行前に返納している場合の選択肢がないので、注意をいただきたい。

運賃について、奈良交通路線は220円だが、事業者として企業努力で220円としている。行政は利用者が使いたい金額で運賃を設定し、差額は行政がコストを負担するので、スタートラインが違う。

運賃はサービス水準を考えて設定すべきである。ちょこつとながもは、定員が4人で家の前まで来てくれるため、バスとは異なるサービス水準である。

◎本日の説明を聞いて、まだ需要者側の立場も、供給者側の立場も準備不足だと思う。この事業は健康増進につなげようというものだが、それについての評価フレームが十分でないと感じた。

運賃について検討する時間を確保する方策はないのか。

→無償運行は一定期間のみであり、有償化してどうなるかを含めて実証実験である。このまま無償化を続けるのは難しいと考えているので、金額については今日確定したいところが事務局としての考えである。

◎利用者は少ないが登録者はいる。将来ちょこつとながもがあってほしいということでオプション価値を感じている。登録に関してお金を取る、さらに乗車に対してお金を取るということは可能か。

○登録料を取るというのはあまり聞いたことはない。運輸局への申請は必要がないが、登録料を取ることを含めて協議会で承諾を取っていただければと思う。

○ちょこつとながもはフルデマンド運行である。コミュニティバス南加茂台線は定時定路線のデマンド運行で200円である。ちょこつとながもの運賃がコミュニティバスと同じ200円になると、南加茂台線はなくなるのではないかと。利用料金はサービス水準により変わってくるのではないかと。

○担当課としては当初、3,000円の運行経費がかかり、過疎債を適用しても1,000円程度が必要ということで地元にも説明させていただいた。

公共のライドシェアでは概ね500円、300円程度が多くなっている。この1年間は300円での有償実証で状況を見ていきたいと考えている。300円で運行開始後も議論を継続していきたい。

◎300円での運賃が暫定とのことだが、実証の評価を示していただく必要があるかと思う。

→半期で状況を見ていき、検証するよう庁内でも検討している。

○改めて会議を開くべきではないか。採決後にもう一度議論し直すというのはふさわしいと思わない。

◎時間も限られているが、いつまでに議決を取る必要があるか。

→運輸支局からは2月中旬と伺っているが、対応については相談していく。

○料金設定については、ハンディキャップがある方などについての割引なども想定するのも一案である。

◎検証方法なども踏まえて、書面または対面にて、再度協議会を開催して議決をするということによろしいか。

※採決をとったが、賛成少数となった。

→資料等を整えて改めて協議させていただきたい。協議会に関してはスケジュール等を踏まえて、開催方法は判断したい。

○南加茂台の住民と対話することが望ましい。

②令和7年度補正予算第2号（案）

【配布資料】資料5-1、5-2

【主な意見・質疑等】

意見・質疑なし

③地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

【配布資料】資料6-1、6-2、6-3、6-4、6-5、6-6

【主な意見・質疑等】

◎資料で一部文字が隠れているところがあるので適切に修正願いたい。

→承知した。

④木津川市地域公共交通計画の変更について

【配布資料】資料7-1、7-2

【主な意見・質疑等】

意見・質疑なし

(3) その他

①次回協議会の日程について

次回協議会は3月までに開催することを予定している。詳細の日時については後日通知することとした。

②その他

当日資料として配布した、①きのつバスICカードデータ分析中間報告、②城山台自動運転の2点について事務局から報告があった。

【主な意見・質疑等】

◎自動運転試乗体験会は、ぜひ地域の方に乗っていただけるよう周知をお願いしたい。本日試乗したが、バス停周辺では周知が少ないような気がした。

→自動運転試乗体験会は自治会への告知、城山台小学校のメール案内、周辺企業へ告知を行った。市の公式LINEにおいても発信する予定である。

3. 閉 会

以上